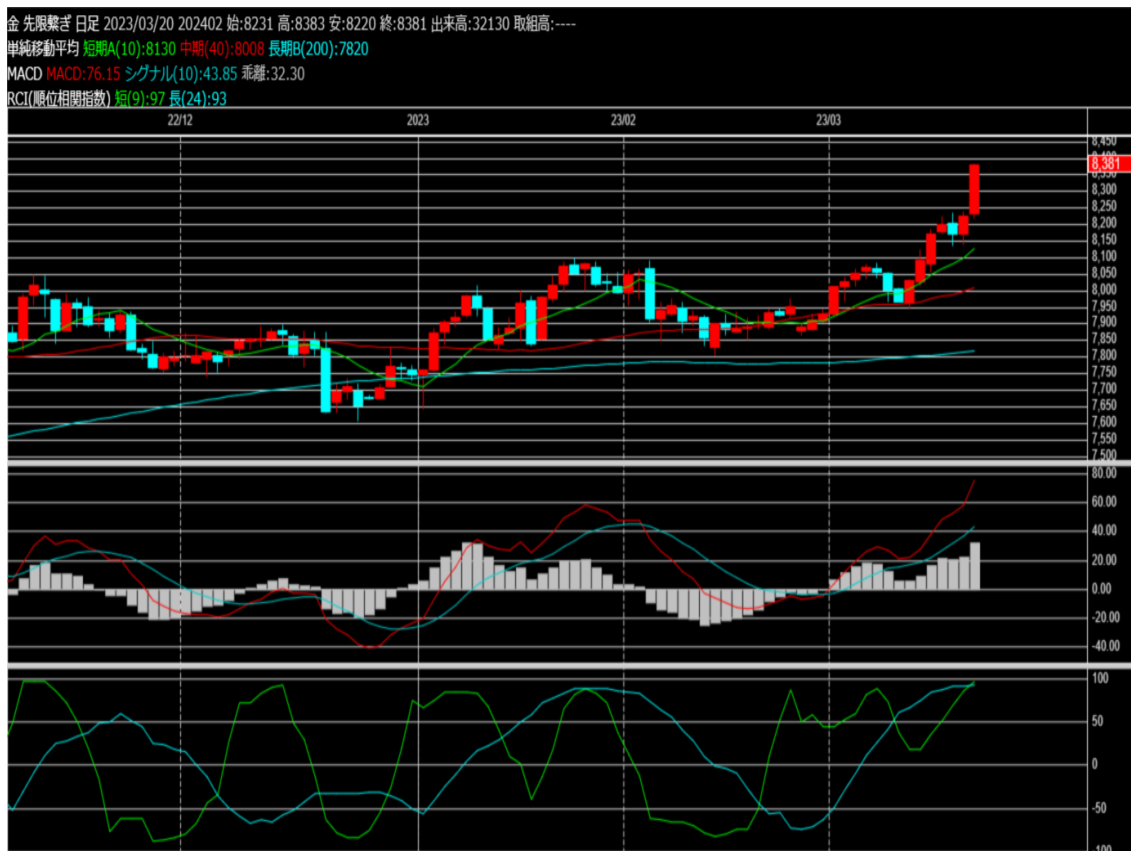


<金標準先物、FOMC まで高値追いには注意・・・>



(出所：オアシス)

シリコンバレー銀行の破綻を機に米国地方銀行の破綻が続き、ファースト・リパブリック・バンクの株価が61%の下落を行ない、次の破綻が危惧される中で大手銀行11行が3000億ドルの預金支援を発表している。またクレディ・スイスは、筆頭株主であるサウジ・ナショナル・バンク（SNB）のアンマル・フダリ会長がクレディ・スイスに対する追加投資を否定した事から株価の下落で財政リスクが高まりを見せている。特にスイス中銀は7兆円規模の支援策を発表し、ECB理事会では0.5%の利上げを行うなど、市場は落ち着きを見せていたが、週末にファースト・リパブリック・バンクの株価が27%安、クレディ・スイスの株も6%安を示すなど金融市場の不確実性の払拭は見せていない。そのため金価格は金融不安を受けて利上げ観測が後退し、ラストリゾートの様相を見せて週末には8383円まで上昇し、一連の不確実性の高まりを受け7日間で440円の上昇を行なうなどFOMCまで高値追いは続く可能性は高いと思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDやRCIでは、MACDはMACDが上昇し、シグナルも上昇している。RCIでも短期が+97%で上昇、長期は+93%で推移するなど、強気を示唆する動きを見せている。ただ日足と10日移動平均線が大きく乖離した状態である事から目先大幅な調整安の動きには注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 4,500,000 円(2023 年 3 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 3 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>